

法人が行う自己判定の範囲について（案）

中期目標の達成状況評価

1. 課題

- 検証アンケートにおける法人・評価者からの意見

（法人） 改善に資するため中期計画ごとの判定及び判断理由を提示してほしいとの意見がある。

法人の自己評価と判定が異なる場合にはその理由を知らせてほしいとの意見がある。

（評価者）中期計画の実施状況を記述し、中期目標（小項目）において総括的に達成状況（成果）を記述する方式では、成果の記述が不明瞭になり、評価しにくいとの意見がある。

2. 見直し案

【第1期】			【第2期】	
項目	自己評価内容		自己評価内容	
中期計画	中期計画の実施状況の分析を記述	➔	中期計画の実施状況の分析を記述し、 段階判定（3段階）・判断理由を記述	
小項目	段階判定（4段階）・判断理由を記述		なし	
中項目	段階判定（4段階）・判断理由を記述		なし	
大項目	なし		なし	

（参考）中期計画の段階判定区分表

【第1期】		【第2期】
判定を示す記述		判定を示す記述
	➔	実施状況が非常に優れている
実施状況が良好である		実施状況が良好である
実施状況がおおむね良好である		実施状況がおおむね良好である
実施状況が不十分である		実施状況が不十分である

学部・研究科等の現況分析

1. 課題

- 分析項目・観点の簡素化

第2期では、「教育」の分析項目及び観点を、5つの分析項目（10観点）から2つの分析項目（4観点）に簡素化している。

2. 見直し案

【第1期】		➡	【第2期】	
項目	自己評価内容		項目	自己評価内容
観点	観点の状況の分析を記述		観点	観点の状況の分析を記述し、 段階判定（3段階）・判断理由を記述
分析項目	段階判定（4段階）・判断理由を記述		分析項目	なし

（参考）分析項目と観点

【第1期】		➡	【第2期】	
分析項目	観点		分析項目	観点
[教育]			[教育]	
I 教育の実施体制	○ 基本的組織の編成 ○ 教育内容、教育方法の改善に向けて取り組む体制		<u>I 教育活動の状況</u>	○ <u>教育実施体制</u> ○ <u>教育内容・方法</u>
II 教育内容	○ 教育課程の編成 ○ 学生や社会からの要請への対応		II 教育成果の状況	○ 学業の成果 ○ <u>進路・就職の状況</u>
III 教育方法	○ 授業形態の組合せと学習指導法の工夫 ○ 主体的な学習を促す取組			
IV 学業の成果	○ 学生が身に付けた学力や資質・能力 ○ 学業の成果に関する学生の評価			
V 進路・就職の状況	○ 卒業（修了）後の進路の状況 ○ 関係者からの評価			
[研究]			[研究]	
I 研究活動の実施状況	○ 研究活動の実施状況 ○ 大学共同利用機関、大学の全国共同利用機能を有する附置研究所及び研究施設においては、共同利用・共同研究の実施状況		<u>I 研究活動の状況</u>	○ <u>研究活動の状況</u> ○ <u>大学共同利用機関、大学の共同利用・共同研究拠点に認定された附置研究所及び研究施設においては、共同利用・共同研究の実施状況</u>
II 研究成果の状況	○ 研究成果の状況（大学共同利用機関、大学の全国共同利用機能を有する附置研究所及び研究施設においては、共同利用・共同研究の成果の状況を含めること。）		II 研究成果の状況	○ 研究成果の状況（大学共同利用機関、大学の共同利用、共同研究拠点に認定された附置研究所及び研究施設においては、共同利用・共同研究の成果の状況を含めること。）

※表中、下線は変更箇所を示す。